

事務事業チェックシート

事務事業No 732 事業名 自殺対策緊急強化事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
基本方針	3	精神保健対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
事項		自殺対策緊急強化事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	平成22年 ~		
事業実施の根拠法令	自殺総合対策大綱		
関連個別計画	地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市における自殺者数は、年間80人から100人前後で推移しているため、うつ病等の早期発見や早期治療を目指す。また、こころの健康相談を保健所で行っていることの周知を図る。	1. 特にうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした精神科医による夜間相談（予約制）の実施 2. 自殺予防に関する知識の普及を図るための研修会、ゲートキーパー育成のための研修会等の実施 3. 自殺の現状や相談窓口の周知を目的に、様々な普及啓発の実施 4. 和歌山市G-Pネットの定着促進を図る。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		自殺に最も関係あるうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした、精神科医師による夜間相談を実施した。自殺予防に関わる職員等を対象に自殺対策研修を実施することにより、早期対応の中心的役割を担う人材養成を行った。また、普及啓発活動を実施し、市民一人ひとりの気づきと見守りを促し、自殺に対する理解を深める。一般診療科医と精神科医の連携システム（G-Pネット）の定着促進を行った。	自殺に最も関係あるうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした、精神科医師による夜間相談を実施した。自殺予防に関わる職員等を対象に自殺対策研修を実施することにより、早期対応の中心的役割を担う人材養成を行う。また、普及啓発活動を実施し、市民一人ひとりの気づきと見守りを促し、自殺に対する理解を深める。一般診療科医と精神科医の連携システム（G-Pネット）の定着促進を行った。	自殺に最も関係あるうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした、精神科医師による夜間相談を実施した。自殺予防に関わる職員等を対象に自殺対策研修を実施することにより、早期対応の中心的役割を担う人材養成を行う。また、普及啓発活動を実施し、市民一人ひとりの気づきと見守りを促し、自殺に対する理解を深める。一般診療科医と精神科医の連携システム（G-Pネット）の定着促進を行う。	自殺に最も関係あるうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした、精神科医師による夜間相談を実施した。自殺予防に関わる職員等を対象に自殺対策研修を実施することにより、早期対応の中心的役割を担う人材養成を行う。また、普及啓発活動を実施し、市民一人ひとりの気づきと見守りを促し、自殺に対する理解を深める。一般診療科医と精神科医の連携システム（G-Pネット）の定着促進を行う。	自殺に最も関係あるうつ病等の早期発見・早期治療を目的とした、精神科医師による夜間相談を実施した。自殺予防に関わる職員等を対象に自殺対策研修を実施することにより、早期対応の中心的役割を担う人材養成を行う。また、普及啓発活動を実施し、市民一人ひとりの気づきと見守りを促し、自殺に対する理解を深める。一般診療科医と精神科医の連携システム（G-Pネット）の定着促進を行う。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	4,465	3,892	4,148	4,193	3,323		3,323		3,323	
伸び率 (%)	-	-	-7.1%		-19.9%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	11,476	17,581	17,581	14,780	17,581		17,581		17,581
	非常勤職員	1,312	1,325	1,325	1,947	1,325		1,325		1,325
	小計	12,788	18,906	18,906	16,727	18,906		18,906		18,906
国庫支出金	0	0	0	0	0		0		0	
県支出金	4,465	3,892	4,148	4,193	2,143		2,143		2,143	
市債	0	0	0	0	0		0		0	
その他	0	0	0	0	0		0		0	
一般財源(税等)	0	0	0	0	1,180		1,180		1,180	
所要人数	常勤職員	1.52	2.31	2.31	1.99	2.31		2.31		2.31
	非常勤職員	0.52	0.63	0.63	0.99	0.63		0.63		0.63
主な予算内訳	需用費 1,700千円		報酬 2,316千円		役務費 995千円					

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	夜間相談開催回数					年度目標値	12	12	12	12
						実績値	12	11		
	単位	回	全体目標値	12	全体目標達成度	91.7%	年度別達成度	100.0%	91.7%	
							年度目標値	4	4	9
研修実施回数					実績値	5	16			
	全体目標値	9	全体目標達成度	400.0%	年度別達成度	125.0%	400.0%			
成果指標	夜間相談者数					年度目標値	36	36	36	36
						実績値	10	12		
	単位	人	全体目標値	36	全体目標達成度	33.3%	年度別達成度	27.8%	33.3%	
							年度目標値	150	150	270
研修実施・参加人数					実績値	231	734			
	全体目標値	270	全体目標達成度	489.3%	年度別達成度	154.0%	489.3%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>和歌山市では年間80人から100人前後の方々が自殺で亡くなられているため、開庁時間における相談対応はもとより、精神科医師によるうつ病に関する夜間相談の実施、自殺防止に関する啓発活動等のさらなる取り組みが必要である。また、平成24年度に構築した「G-Pネット」(一般診療科医と精神科医の連携)の推進が必要である。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>自殺予防のための普及啓発やゲートキーパー育成のための研修会の実施について、出前講座の開催により多くの市民を対象とした形式をとることができた。 和歌山市G-Pネットのさらなる定着に向けて、市医師会への働きかけや各医療機関への周知も続けなければならない。研修実施回数、参加人数の指標について、出前講座を実施しているため目標値を変更した。</p>